

# 星空 だより

普及版  
2024年 2月

**再開! がいけつ!**  
ぎもん・てんもん

小学4・6年生が理科で習う内容を  
中心に、毎月わかりやすく星のお  
話をします。楽しく学べて学校の  
授業にもとても役に立ちます!

今日は... **18日(日) 15:30**

**「星の色と明るさ」(小4)**  
よく観察すると、星の色や明るさは  
さまざま。星の色や明るさがそれ  
ぞれちがうのはなぜだろう?

**観覧料**

大人(高校生～) 300円 子ども(3歳～中学生) 100円  
団体(20名以上) 大人250円、子ども80円 ※久喜総合文化会館メンバーズクラブ/フレンズ会員の方はご本人様のみ無料  
障がい者個人および介護者 1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)

**イベントの予定**

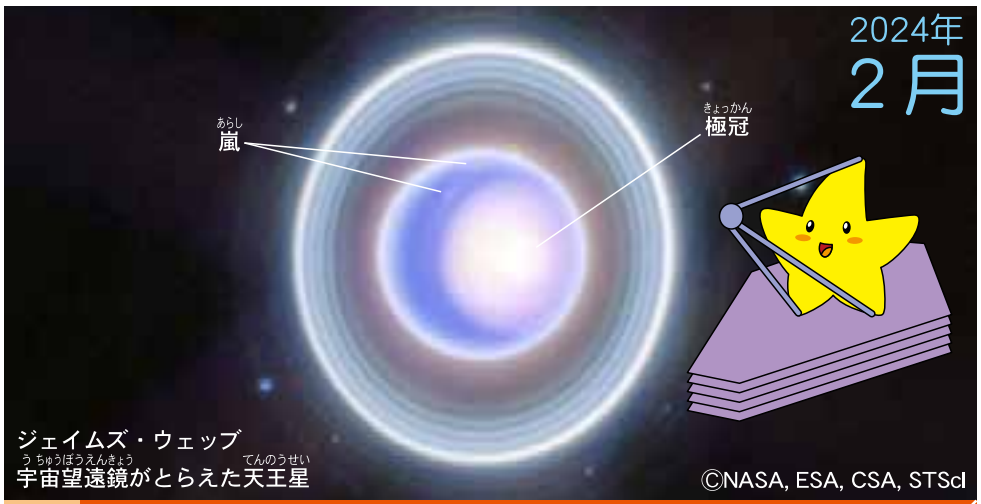
**天体観望会 2月17日(土) 18:00～19:30** (18:30まではプラネタリウムでの事前学習)

定員...136名(先着順)  
観察する星...月、木星、すばる、オリオン  
大星雲など(予定)  
参加費...無料 申込...会館事務室に電話か  
直接申し込む(受付中)

※中学生以下保護者同伴。  
※天候不良の場合プラネタリウム投映のみ実施。  
※当日は17:30～17:50にプラネタリウム前集合(受付がしています)。

**春休み特別投映 全天周プラネタリウム『Mitaka! 宇宙の旅』**  
4月1日(月)～7日(日) ①11:00～ ②13:30～ ③15:30～  
※4月6日(土)11:00～はこどもも投映です ※火・金曜日は定休日です

■ドームいっぱいに広がる迫力の全天周プラネタリウムで国立天文  
台開発のデジタル宇宙ビューアー「Mitaka」を使用し、地球を飛  
び出し宇宙の旅に出よう! 宇宙は...限りなく広がっている!



ジェイムズ・ウェッブ  
宇宙望遠鏡がとらえた天王星

©NASA, ESA, CSA, STScI

**今月の投映**

**今夜の星空+テーマ番組「ジェイムズ・ウェッブが見た宇宙」**

NASAのジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡は度重なる延期を経て、ついに  
2021年12月25日、無事に打ち上げられ、以降私たちに驚かせるような映像  
を地球に届け続けています。新型望遠鏡が捉えた宇宙の姿とは...!?

**土曜11:00** 今夜の星空+こども番組「ほしのすなのものがたり」

**投映日** ● 一般向け ★ こども向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

	11:00～	13:30～	15:30～	16:30～
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※新型コロナウイルスの状況により、変更が生じる場合があります。最新の情報はホームページ  
(<https://www.kuki-bunka.jp/sogobunka/planetarium/>) をご確認ください。  
※12日(月・祝)はプラネタリウムコンサート開催のためお休みです。  
※18日(日) 15:30～は小学校理科の内容を扱う『がいけつ!ぎもん・てんもん』です。  
※23日(金・祝)は11:00～、13:30～、15:30～の3回投映です。

**2月の投映内容(予定)**

今夜の星空+テーマ番組  
**「ほしぞら質問箱 Vol.14」**

**土曜11:00** 今夜の星空+  
こども番組「はととノアのはこぶね」  
**17日(日) 15:30**

がいけつ!ぎもん・てんもん  
宇宙の広がり(発展学習)

**お知らせ**

新型コロナウイルス対策等の影響で  
内容等が変更となる場合があります。

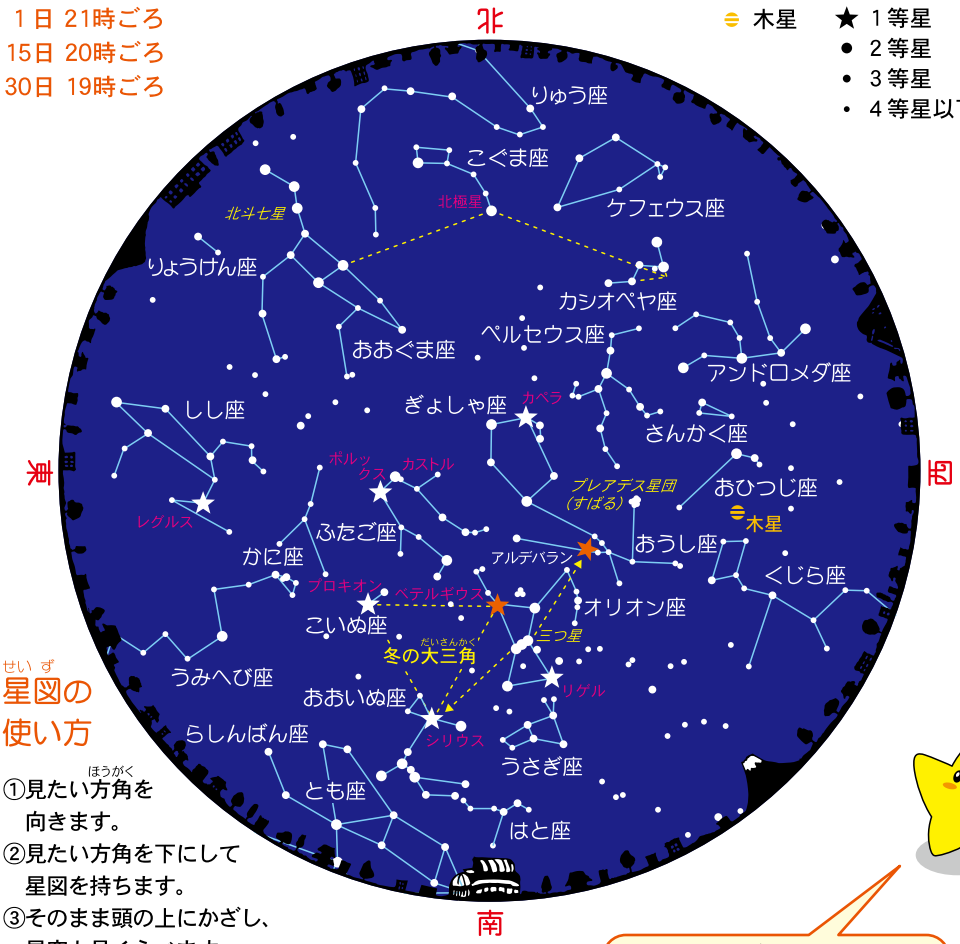
最新情報は  
ホームページ  
でご確認ください  
さい→→→→

久喜総合文化会館  
〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140  
TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488



# 2月の星空

1日 21時ごろ  
15日 20時ごろ  
30日 19時ごろ



## 星図の使い方

- ① 見たい方向を向きます。
- ② 見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③ そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

- ♃ 木星
- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

**惑星** わくせい  
西**木星**…2等級。明るく目立つ。  
**星団** せいだん  
西**プレアデス星団(すばる)**…空の条件が良いと6~7個程の星を見分けられる。

**主な1等星** おもないっとうせい  
天頂**カペラ**[ぎょしゃ座]…黄色く明るい。  
天頂**アルデバラン**[おうし座]…赤っぽい色。近くに「すばる」がある。  
南**ベテルギウス**[オリオン座]…赤っぽい。  
南**リゲル**[オリオン座]…ベテルギウスから三つ星を挟み反対側。青白い。  
南**シリウス**[おおいて座]…星座の星で最も明るい(約-1.5等級)。  
南東**プロキオン**[こいぬ座]…ベテルギウス、シリウスと「冬の大三角」を形作る。  
東**ポルクス**[ふたご座]…ふたごの弟。  
東**レグルス**[しし座]…春の1等星。



プレアデス星団(すばる)の星は何個見えるかな? チャレンジ!

## 近くば寄って目にも見よ

ハッブル宇宙望遠鏡の後継機、ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡。光を集める鏡の直径はハッブルの約2.5倍、直径約6.5mもあります。その使命の一つは宇宙誕生の約2億年後以降に輝き始めたファーストスターを初観測し、宇宙誕生の謎に迫ることです。宇宙誕生は138億年前ともさらに昔とも言われていますが、遠くの星や銀河ほど光が地球に届くまで時間がかかるため、より遠くの天体を観測すれば古い宇宙の姿を知ることができます。このため赤方偏移(ビックバンに始まる宇宙膨張で遠い天体ほど速く遠ざかり波長が伸びて赤く見えること)する天体を捉え易いよう、赤外線で観測を行います。

しかい遠い天体ばかりを観測しているわけではありません。地球に近い太陽系の星の観測でも高い性能が発揮され、赤外線を使うことで人の目では見

えない部分も写し出されています。例えば木星では、まだかつてないくらい詳しい大気や雲の様子、オーロラや細い環、衛星も捉えられています。また天王星(表紙)ではハッブルでは捉えられなかった多数の環や衛星、ポイジャー2号探査機でも写せなかった極冠や嵐などの大気の変化を観測しています。これらは惑星の複雑な大気の仕組みの理解に、また将来探査機を送り込む時の情報として大いに役立ちます。

遠くから近くまで宇宙の新たな姿を見せてくれるジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡。地球からは150万kmの彼方にあり、壊れても修理は不可能です。少しでも長く活躍してほしいものですね。



**日の出**

2月1日	6:42
15日	6:29
29日	6:12

**日の入**

2月1日	17:08
15日	17:22
29日	17:36

**こよみ**

2月3日	● 下弦 節分
4日	● 立春
10日	● 新月
11日	● 建国記念の日
12日	● 振替休日
15日	● 月と木星が接近 (夕方南西~宵の西の空)
17日	● 上弦
19日	● 雨水
23日	● 天皇誕生日
24日	● 満月 (今年最小の満月)